令和7年度学校における多忙化解消プログラム【概要】

国や県の動向を踏まえ、学校、教育委員会、保護者、地域、その他関係機関・団体等が一体となって、教職員の業務の適正化及び勤務時間の縮減を図ることを目的に策定している『令和7年度学校における多忙化解消プログラム』をまとめたもの。

1. 全学校で取り組む事項【重点事項10項目】

- ① 目標を定めた「時間外在校時間の縮減」【継続】
- ② 業務の平準化に向けた校務分掌の見直し【継続】
- ③ 長時間労働者に対する学校長面談の実施【継続】
- ④ 部活動休養日及び活動時間の徹底【継続】
- ⑤ 最終退勤時刻の設定【継続】
- ⑥ 定時退庁日の設定【継続】
- ⑦ 時間外電話・来校相談時間の適正化【継続】
- ⑧ **長期休業期間中の学校閉庁日の実施【拡充】**
 - **夏季休業期間**…8月10日～15日の6日間に加え、各学校において任意の4日間を設定
 - **冬季休業期間**…12月27日～翌年1月4日の9日間を設定
- ⑨ 小学校高学年の教科担任制の導入【継続】
- ⑩ 学校安全衛生会議の実施【継続】

2. 各学校が選択的に取り組む事項【9項目】

- ① 学校行事・カリキュラムの精選・効率化【継続】
- ② 会議の効率化【継続】
- ③ 定時退庁日の拡大【継続】
- ④ 地域人材の活用【継続】
- ⑤ 教材・各種資料のデータ共有の促進【継続】
- ⑥ 年次取得促進とそのための体制づくり【継続】
- ⑦ 登校時間の制限【継続】
- ⑧ PTA活動の工夫【継続】
- ⑨ その他【継続】
(例) 家庭訪問の実施見直し、通知表の所見欄の廃止など

3. 学校を支援するために教育委員会が取り組む事項【15項目】

- ① **教育活動を支援する人員配置【拡充】**
 - 喫緊の教育課題に対応する支援員を増員 10人程度
 - 県に対する加配教職員の適切な配置要望 50人程度
- ② 統合型校務支援システムの本格運用【継続】
- ③ 学校給食費の公開化の実施【継続】
- ④ 長時間労働者に対する医師面接の実施【継続】
- ⑤ 部活動に係る大会等の見直し【継続】※中学校のみ
- ⑥ 部活動指導員の配置【継続】※中学校のみ
- ⑦ 部活動の在り方検討・基本計画の推進【継続】※中学校のみ
- ⑧ 各種作品募集の応募依頼予定表の作成【継続】
- ⑨ 各種会議の精選【継続】
- ⑩ 各事業の評価と精選【継続】
- ⑪ 調査・照会等の精査【継続】
- ⑫ 教職員多忙化解消会議の開催【継続】
- ⑬ 多忙化解消プログラムの策定【継続】
- ⑭ **留守番電話装置等の設置【拡充】**
 - 携帯電話5台増設
- ⑮ **生成AI・採点システムの導入に向けた調査・研究【新規】**
 - 働き方改革を目的とした生成AIの利活用
 - 採点時間短縮、成績処理の負担軽減を目的とした採点システムの導入